




過程	学習活動	主な発問（○）、子どもの反応（・）、話し合いの様子など
つかむ	1 農家の悩みを確認する。 2 新たな事実に出会い、学習課題をつかむ。	○外国産の輸入が増えると、日本の農家はどうなりますか。 ・高い日本産が売れなくなります。 ・輸入品には高い関税がかけられていたね。 ○TPPに参加したら日本の農家はどうなる？ ・国産品が売れなくなってしまう。 ・えっ、でもTPPに賛成している農家もいるね。 <b>TPPに参加すると農家の人は困るはずなのに、なぜ、賛成している農家がいるのだろうか。</b>
考える 話し合い	3 TPPに参加している農家について考える。 (1) 個人思考 (2) グループ (3) 全体で 	○どうしてTPPに賛成しているのか考えてみましょう。  <p>日本産は手間をかけながら作物を作っているって学習したよね。それがTPPと関係あるのかな。</p> <p><b>確かに、高くても売れるっていう農家の方々の自信もあるのかも知れないね。</b></p> <p>農家の人にとって見れば、安い外国産が入ることは大変じゃないの？</p> <p><b>えっ。でも、日本のいいものが外国に輸出しやすくなるっていうことが考えられないかな。</b></p> <p>黒板にあるグラフから分かるように日本の輸出額が年々増えています。日本のいいものが外国でも売れているという自信につながっていると思います。</p> 
振り返る	4 学習のまとめ 5 振り返り	○それでは、黒板のキーワードを使って今日の学習をまとめてみましょう。 キーワード：安全、安心、品質 <b>日本のいいものが外国に輸出しやすくなり、安全で安心な品質のよい日本の農産物に自信があるから、TPPに賛成している農家の方がいる。</b>